

No.54  
Nov. 2011



# NSnet News

第125回安全キャラバンの実施

第83回ピアレビューの実施

第84回ピアレビューの実施

第85回ピアレビューの実施

第23回管理者セミナーの実施

安全キャラバン、ピアレビュー、セミナーの実施概要等は、ホームページに掲載しています。是非、ご覧下さい。

(<http://www.gengikyo.jp/activity/safety/index.html>)

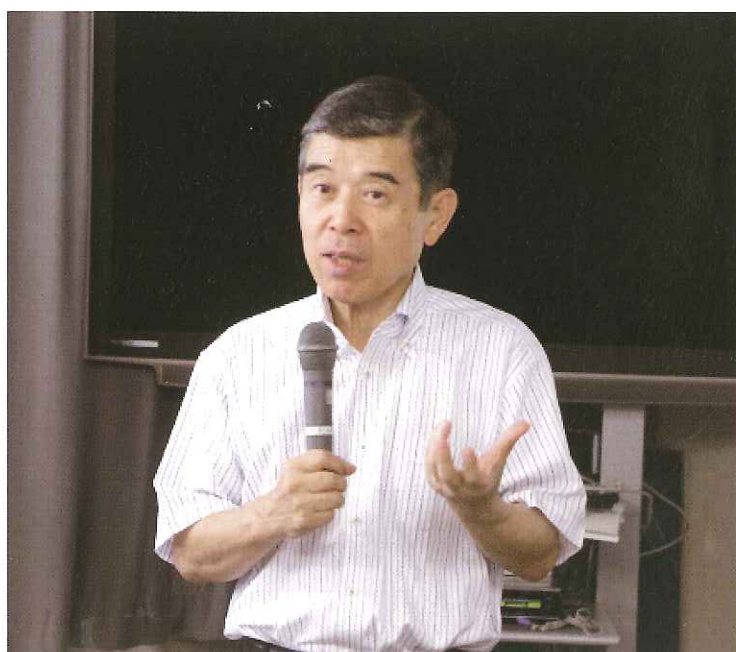
# 第125回安全キャラバンの実施

回	実施時期	会員名・事業所名	安全講演会講師	講演テーマ
125	H23.9.2	原子燃料工業（株） 東海事業所	熊本大学教育学部附属 教育実践総合センター 教授 吉田 道雄 様	「コミュニケーション・スキルアップと 働く意欲の向上」 ～こころの筋肉運動のすすめ～

平成 23 年 9 月 2 日、茨城県那珂郡東海村にある原子燃料工業株式会社 東海事業所において、第 125 回安全キャラバンを実施しました。

## ● 《講演要旨》

◆職場での良好なコミュニケーションを保つためには、インフラ、すなわち良好な人間関係を確立させることが重要である。何かを伝えようという時にも、日頃から人間関係がうまくいっている場合には、全体の 80% の情報しか伝えられていなくても残りの 20% を補いながら聞くことで、通じる可能性がある。一方で、人間関係がうまくいっていない場合には、聞き手の許容量が落ちてしまい、120% の情報を伝えられたとしても通じない可能性がある。すなわち、伝えたものが正しいか正しくないかという事実だけの問題ではなく、それを伝えるインフラが問題になる。



▲ 熊本大学 教育学部附属教育実践総合センター  
教授 吉田道雄 様

◆インフラとしての人間関係を良好にするためには、日頃からエクササイズをして鍛えていく必要がある。例えば、挨拶のような小さな事でも大きく評価したり、他の人が褒めないような小さな所に注目して褒めると、部下の意欲が高まることもある。しかしそのためには、自分自身が褒められ憧れられるような上司となることや、日常生活の中で小さなことでも喜べるような習慣をつけることが重要である。

◆コミュニケーションのスキルアップの向上のために、具体的な手法（グループワーク）を紹介する。これは、自分自身を知らせるためのメモと、他人に対するイメージのメモを作成し、それを使ってグループで発表しあうものである。この中では、「自分を知らせる」「他人を知る」「自分を知る」ということを目的としており、自分が自分自身について発表するときには「聞

こえる声で、聞いてもらえる声で」「顔と目で笑って」「大きなジェスチャーで」ということを心がけると良く、他人の発表を聞くときにも、同じポイントを心得ながら聞くと円滑に進む。また、自分以外のメンバーが作成した自分に対するイメージのメモを発表してもらい、それを取りまとめて自分自身について振り返りを行う。他人のイメージと自分の考えとで、当たっている部分と外れている部分があると思うが、それぞれのイメージについて考察し、今後の考動（考えて動くための）目標を定めると、自分自身の意欲やパワーの変革につながる。

との貴重なお話を頂きました。

また、今回のグループワークは講演参加者を6名ずつのグループに分けた後、「自分を知らせる、他人を知る、そして自分を知ることを通じて対人関係の基礎技術を学ぶ」ことを目的として実施しました。



▲ 講演会の様子

講演会終了後のアンケートでは、

- 非常に良い講演でした。講演会で感じた事を自分なりにこれからの部下、上司とのコミュニケーション役立てたい。講演を聞くだけではなく、演習を行ったことも非常に良かった。
- 大変楽しく聴かせて頂きました。内容が通常の半分程度との事が残念です。「小さな事を見つけて褒める」ことが印象に残っています。
- 講演は分かりやすくとても良かったと思います。一部の人だけに講演をするより、社員全体に聞いてもらいたいと思います。
- 講演の中にグループ討議があったため、非常に理解しやすい内容であった。今後、説明いただいたツールを職場会合等で実践し、コミュニケーションアップを図っていきたい。

などのご意見・ご感想をいただきました。

## ● << 安全情報交換会 >>

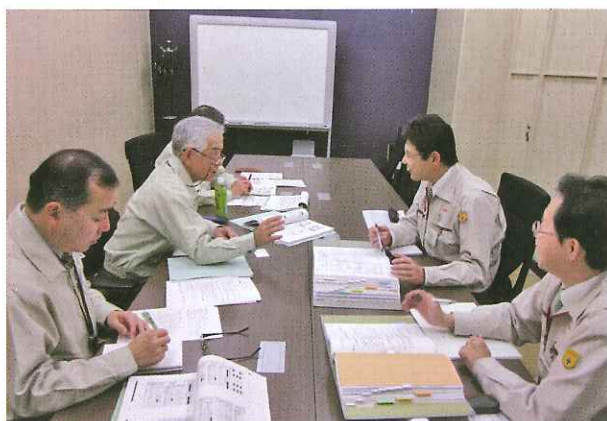
安全情報交換会では、原子燃料工業株式会社殿から「職場内ミーティングの取り組み状況」の紹介を頂きました。その後、原技協から「職場内ミーティングの活性化に関する事例の紹介」を行い、上記の取り組みに関する意見の交換を行いました。



▲ 安全情報交換会の様子

## 第83回ピアレビューの実施

回	実施時期	会員名・事業所名	所在地	施設区分
83	H22.12.8 ~ 12.10	(株) 東芝 府中事業所 電力システム社 原子力関連部門	東京都府中市	プラントメーカ



▲ レビュー状況（面談）



▲ レビュー状況（終了会議）

## 第84回ピアレビューの実施

回	実施時期	会員名・事業所名	所在地	施設区分
84	H23.1.26 ~ 1.28	(財) 電力中央研究所 原子力技術研究所	東京都狛江市	研究機関



▲ レビュー状況（現場観察）



▲ レビュー状況（終了会議）

## 第85回ピアレビューの実施

回	実施時期	会員名・事業所名	所在地	施設区分
85	H23.2.23 ~ 2.25	日揮（株）	神奈川県横浜市	プラントメーカー



▲ レビュー状況（面談）



▲ レビュー状況（終了会議）

## 第23回管理者セミナーの実施

平成23年10月13日(木)、14日(金)に、JR東日本総合研修センター(福島県白河市)において、第23回管理者セミナーを開催しました。



▲ 佐藤 寿 様

### ●講演「JR東日本の安全の取組み」

JR東日本パーソネルサービス総合研修センター事業本部運輸研修部長 佐藤 寿様から、鉄道の特性を踏まえた安全確保の考え方、仕組みや教育内容などについてご講演いただきました。

### ●基本動作訓練(体験)

体育館において、整列、点呼、指差呼称などの基本動作訓練を体験しました。



▲ 基本動作訓練

### ●列車防護訓練(体験)

実習用の線路において、踏切事故時等における対向列車の緊急停止訓練(列車防護訓練)などの体験学習を行いました。



▲ 列車防護訓練

### ●「事故の歴史展示館」見学・説明

JR東日本総合研修センターにある「事故の歴史展示館」を見学し、過去の事故の教訓などを説明していただきました。

### ●セミナー内容の振り返り

セミナーの内容を振り返り、参加者が各職場で役に立つ内容についてグループ討議及びグループ発表を行い、セミナー内容の理解を深めました。

### <アンケート>

セミナー後のアンケートでは、次のようなご意見・ご感想を頂きました。

- ・安全に対する意識を今まで以上に感じる事ができ、有意義であった。常日頃、部下に絶対に守らなければならないルールの遵守を更に強く指導したい。
- ・乗客、乗務員の命を守る訓練は、ちょっとした気の緩みや間違いで大惨事になりかねないことが分かり、JRの方々が真剣に取り組まれていることに安心感と感動を得た。自分自身の今後や職場においても良い体験であったし、何か実践できればと思っている。

(協力：株式会社JR東日本パーソネルサービス)



インターネットで当協会及び安全文化推進部の詳しい活動内容をご紹介します。

<http://www.gengikyo.jp/>

(表紙写真/原技協職員撮影)

NSnet News No.54 2011年11月号

〒108-0014 東京都港区芝四丁目2-3 NOF 芝ビル7階  
一般社団法人 日本原子力技術協会 安全文化推進部  
TEL:03-5440-3604 FAX:03-5440-3607



古紙配合率100%再生紙を使用しています